

# 競 技 注 意 事 項

- (1) 本大会に適用する規則は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定である。  
(2) 競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、フィールド競技用シューズについては適用を除外する。

## 2 練習について

- (1) 練習は補助競技場（サブトラック）を使用すること。但し、投てき練習は一切禁止する。  
フィールド種目の練習は、招集完了後競技役員の指示により競技場内で行う。  
(2) 本競技場内での朝の練習時間は、開門～放送等で指示された時間までとする。

## 3 招集について

- (1) 招集所は、バックスタンド南側サブトラックへの通路付近に設ける。  
(2) 各種目の招集開始時刻・招集完了時刻はその競技の開始時刻を基準とする。

|         | 招集開始時刻                  | 招集完了時刻                  |
|---------|-------------------------|-------------------------|
| トラック競技  | 競技開始30分前                | 競技開始20分前                |
| フィールド競技 | 競技開始40分前<br>(棒高跳のみ70分前) | 競技開始30分前<br>(棒高跳のみ60分前) |

### (3) 招集の手順

- ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受け、その際アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイクの点検を受ける。（腰ナンバーカードは各校で用意する。なお1500m以上の種目及び競歩種目は招集の時に競技者係から配られる。）  
② 最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人が最初の競技の点呼の際に競技者係に申し出ること。  
③ 招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。  
④ オーダー用紙は**競技者係(招集所)**に提出する。（提出時刻は、各種目の第1組の招集完了時刻の2時間前から1時間前までとする）

- 4 アスリートビブスは胸部・背部ともにしっかりと付けること。（跳躍種目は胸部・背部のいずれかでもよい）腰ナンバーは定められたレーンの番号布を右腰や後部につけること。

## 5 競技について

- (1) レーン、試技はプログラムの記載の番号順とする。  
(2) 競技運営の都合上、男女5000mWは35分で競技を打ち切る場合がある。  
(3) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

|       |                                |             |
|-------|--------------------------------|-------------|
| (走高跳) | 男子：1m50(練習)1m55－1m60－1m65…1m80 | 以降 3cm きざみ  |
|       | 女子：1m20(練習)1m25－1m30－1m35…1m50 | 以降 3cm きざみ  |
| (棒高跳) | 男子：2m50(練習)2m60－2m80－3m00…3m40 | 以降 10cm きざみ |
|       | 女子：1m90(練習)2m00－2m10－2m20－2m30 | 10cm きざみ    |

## 6 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール、やり以外の競技用具は競技場備え付けのものを使用すること。  
(2) 棒高跳用ポールは検査を受けて自己のポールを使用すること。  
(3) やりは検査を受けて自己のやりを使用することができるが、この場合出場者全員で共用することになる。検査は競技場南器具庫前で競技開始1時間前から10分間おこなう。

## 7 その他

- (1) 投てき練習は、審判員の指示により競技場内でおこなうこと。  
(2) 貴重品は各校各自で管理し、盗難には十分に注意すること。  
(3) 各学校の使用した場所は清掃に努め、ゴミは各自持ち帰りとする。  
(4) 参加者はマスクを着用すること。選手は運動(競技・アップ・ダウン)以外の場面ではマスクを着用すること。  
(5) 選手は競技前、競技後の手洗い、手指消毒の徹底に努めること。  
(6) 選手は更衣室の滞在を短時間にする。なお、シャワーの使用は禁止する。